

第1回めぶきビジネスアワード表彰式報告

常陽銀行と足利銀行を傘下に持つめぶきフィナンシャルグループが主催する「第1回めぶきビジネスアワード」に、当社は事業プランとして「画期的な血液検査による高齢化社会における予防医療の支援」を提案しました。646件の応募の中から2次審査を経て、このたび最優秀賞を受賞いたしました。2017年6月16日に水戸京成ホテルで行われた表彰式には、最優秀賞1件、優秀賞3件、特別賞など5件、奨励賞19件の合計28社の代表とその関係者が参列しました。なお、本受賞については日本経済新聞、東京新聞、茨城新聞など多くの新聞で取り上げられました。ご覧いただいた方もいらっしゃると思います。

表彰式は午前11時から始まり、めぶきフィナンシャルグループ代表取締役の寺門一義社長のご挨拶、各賞の授与、受賞者を代表して当社代表取締役社長内田和彦の挨拶、そして懇親会と、会場は非常に活気に満ちたものでした。



めぶきフィナンシャルグループ
代表取締役 寺門一義社長
常陽銀行頭取

受賞者を代表して挨拶する当社
代表取締役社長 内田和彦

寺門社長はご挨拶の中で、第1回めぶきビジネスアワードの概要とめぶきフィナンシャルグループとしての地域活性化の取り組みなどお話されました。また当社について「株式会社MCBIは、長年認知症に関する研究に注力し、世界のトップクラスの研究者から極めて高い評価を受けており、今回の事業プランは認知症の治療を抜本的に変える大きな可能性を持っている」と紹介していただきました。今後、めぶきフィナンシャルグループは応募プランの事業化に向けた様々な支援を行っていくとのことでした。

当社代表内田は、「646件の応募の中からの最優秀賞を受賞したことで事業プランを成功させる責任を痛感しています。このビジネスアワードに応募されたほとんどは中小企業であり、それぞれが大企業に負けない技術を持っており、それを少ない人数で

ビジネスにつなげていくものです。めぶきビジネスアワードは中小企業の方々の励みになると思います。当社は、医療分野で診断をするときに身体の情報をキャッチして病気を早く見つけ予防するための研究開発と事業化を行っています。高齢になっても健康で働ける社会を提供することが我々のミッションです。」と挨拶しました。



表彰式終了後、受賞者全員で記念写真を撮りました。その後、プレス対応があり、めぶきフィナンシャルグループとしてのベンチャー支援など寺門社長から発表がありました。当社もテレビ局や新聞記者からの多く質問いただきましたが、説明を熱心に聞く記者の方々の姿勢が印象的でした。懇親会では、寺門社長との記念撮影、受賞した中手企業の社長との今後のビジネス展開などについてのお話をする事ができ、事業プランの実現のための力強いビジネスパートナーを得ることができました。当社は今後も事業の発展に全力で取り組んでまいります。



記者の質問に答える内田社長



懇親会で寺門一義社長と
(中央は筆者)